



2019年10月15日

鈴与商事ニュースリリース

鈴与商事株式会社
納得住宅工房株式会社

鈴与商事・納得住宅工房による 藤枝共同ZEHモデルハウス（10月オープン）について

鈴与商事株式会社（本社：静岡市清水区入船町11-1／本部：静岡市葵区栄町1-3／代表取締役社長：加藤 正博、以下、鈴与商事）と納得住宅工房株式会社（本社：富士市青葉町572／代表取締役社長：久保 淳、以下、納得住宅工房）は、両社共同で2棟目となるZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス※1、以下、ZEH）モデルハウスを静岡県藤枝市に建設（納得住宅工房 藤枝店）し、10月10日（木）にオープンしましたので、お知らせ致します。

1. 目的

政府は、2020年までに新築注文戸建住宅の半数以上をZEHとする普及目標を掲げています。しかし、2017年度の新築注文住宅のうち、ZEH割合は15.8%と未だ普及が進んでおらず、大手ハウスメーカーだけでなく、地場の工務店や建築設計事務所などの住宅事業者全体による推進強化が求められています。

このような現状において、お客様が健康に、安心して暮らせる住まいの提供をモットーとしている納得住宅工房は、ZEHビルダー※2として環境に配慮し快適なZEHを適正な金額で提供することを目的に、また、鈴与商事は、長年培ったエネルギー商社としてのノウハウを活かし、エネルギー計算代行や最適な省エネ機器の選定など、住宅事業者様向けにZEHの建設をサポートすることを目的に、2社共同によるZEHモデルハウスを建設しております。

2. 実施する共同ZEHモデルハウスの内容

鈴与商事と納得住宅工房は、2017年12月に静岡県掛川市において、ZEHモデルハウスを共同オープンしており、今回のモデルハウスは2棟目となります。

藤枝市前島に建設したモデルハウス（Casa Albero仕様※4：2階建て木造軸組工法、延床面積118㎡）では、従来の設備に加え、住宅と電気自動車（EV）との間で電力融通を行い、より効率的にエネルギーを利用するV2H※5や、より快適な生活をご提供するためのIoT機器を採用した最新鋭の「ZEHパッケージ（太陽光発電設備、V2H、蓄電池システム、HEMS※6、ハイブリット給湯器、エアコン、スマートスピーカー等のIoT機器）」となります。

断熱性能Ua値は「0.47※7」、エネルギー削減率は「35%」、トータルのエネルギー削減率は太陽光発電の創エネを加えて「103%」のゼロ・エネルギー・ハウスとなり、従来のZEHよりもワンランク上の省エネ基準を満たす「ZEH+（プラス）※8」相当となります。

完成後は、納得住宅工房・鈴与商事がZEHの有用性をお客様にご案内する場として共同利用していきます。

3. 今後の取り組みについて

納得住宅工房は、衣食住のライフスタイル事業を中心に展開をしております。「すべてはお客様のために」を経営理念とし、10年以上経ってもマイホームを建ててよかったと思って頂けるような家創りを行うとともに、ZEHの普及につながる高品質な「ZEH × デザインカ」パッケージの拡販を目指して参ります。

鈴与商事は、エネルギーソリューションの提案力を活かし、ZEHのメリットを多くの方々に広めるとともに、ZEHの普及につながる高品質な「ZEHパッケージ」や「住宅設備機器」の拡販を目指して参ります。

【納得住宅工房・鈴与商事 藤枝共同ZEHモデルハウス 概要】

所在地：藤枝市前島3丁目12-43
構造：木造軸組工法
階数：2階建て
延床面積：118㎡

《共同モデルハウスイメージ図》



- ※1：ZEHとは、外皮（壁、床、天井など）の高断熱化と高効率な省エネルギー設備（給湯器やエアコンなど）を備え、太陽光発電等でエネルギーを創り使用することで、従来消費していた正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅のこと。
- ※2：ZEHビルダーとは、自社が受注する住宅のうちZEHが占める割合を2020年までに50%以上とすると目標を掲げ「ZEHビルダー」登録をしたハウスメーカー、工務店、建築設計事務所、リフォーム業者、建売住宅販売者等のこと。
- ※3：一次エネルギー消費量とは、建物等で使用するエネルギーを一次エネルギー（石油や天然ガスなど自然界にあるままのものから得られるエネルギー）ベースの熱量に換算したものの消費量の算出方法も定められている。
- ※4：「Casa Albero／カーザ アルベロ」とは、納得住宅工房が創業20年目を迎えた2018年11月に発売したモデル。イタリア語で「木の家」を意味し、納得住宅工房の原点である「自然素材」と「デザイン」の融合、そして、設備やインテリアに至るまで「トータルコーディネート」を追求した上質な住まいであり、無垢の床と漆喰に包まれた心地いい空間に、上質なレザーソファ、木目の美しいダイニングテーブル、性能・デザインともワンランク上のキッチン、上品な存在感を放つイタリア製のハイドア、プライベートな開放感を楽しめるインナーテラスなどを標準装備。
- ※5：V2H（Vehicle to Home）は、EVに搭載された電池から家庭に電力を供給できる機能。EVの電池を非常用電源として使用したり、EVに貯めた電気を利用することにより電気代を節約することもできる。
- ※6：HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）とは、住宅で消費されるエネルギーを見える化するとともに、使い方をコントロールするシステムのこと。

- ※7：U a 値とは、住宅の断熱性能を表し、数値が低いほど断熱性能が優れていることを表す。住宅と外気との境目である壁・床・天井などの外皮から逃げる熱の合計を外皮の面積で割って算出する。東海エリアのZ E H基準は、0. 6以下。
- ※8：Z E Hの定義を満たし、25%以上の一次エネルギー消費量削減と、更なる省エネルギーの実現及び以下①～③のうち2つ以上を導入すること。
- ①外皮性能の更なる強化として、外皮平均熱貫流率（U A 値）が0. 3～0. 5以下であること（地域区分により異なる）。
 - ②高度エネルギーマネジメントとして、H E M Sにより、住宅設備の制御が可能であること。
 - ③電気自動車（プラグインハイブリッド車を含む）活用のための充電設備として、発電した電力を電気自動車等に充電できる設備を車庫等に設置すること。

以上

《本件に関する問い合わせ先》

鈴 与 商 事 株 式 会 社
経 営 企 画 部
0 5 4 - 2 7 3 - 7 8 3 2

納 得 住 宅 工 房 株 式 会 社
藤 枝 店
0 5 4 - 6 3 1 - 7 1 0 9